

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度（評価） A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である

学校名	唐津市立小川小中学校
1 前年度 評価結果の概要	・どの項目も、「十分達成できている」か「おおむね達成できている」であった。 ・表現の場の設定、授業の中に思考力・判断力・表現力を高める授業の工夫を継続していく。 ・家庭、地域へ、学校の様々な取組の可視化、学校だより、学級便り、ホームページ、授業参観を通した情報発信を強化する。
2 学校教育目標	【自立 貢献】～挑戦する子どもたち～ ・児童生徒一人一人の興味、適正、特性、夢に応じた進路指導 ・自分の生き方は自分で決める。「君は本当にそれでいいの？」 ・正直に、誠実に、一生懸命に生きる児童生徒
3 本年度の重点目標	①児童生徒も職員も安全安心に生活できる学校づくり ②学力向上対策(児童生徒一人一人に応じた授業づくり) ③生徒(生活)指導の充実 ④人権意識の高揚 ⑤教職員の働き方改革の推進

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○(学校独自重点取組)1. 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 2. 思考力、判断力、表現力の育成	○「唐津の学びスタイル」チェックシートの評価の平均が3以上	・「唐津の学びスタイル」を基に校内研究の場を活用した子どもの実態に応じたアウトプット活動の実施						
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳科での学習や人権・平和集会などの感想に、自分の思いや考えを書いた児童生徒90%以上	・道徳科や人権・平和集会、ふれあいタイムなどでの学習や活動 ・心の健康アンケートの実施						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教師90%以上	・生徒の情報をすぐに職員で共有し、必要に応じて対応を行う。 ・いじめ、生徒の情報交換・協議についての研修と会議を年間に3回以上行う。 ・いじめ防止基本方針(R7.4月改)の共通理解を図る。						
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・学校評価アンケートの実施 ・集会等で学校目標の貢献を行った児童生徒を褒める機会を設ける。 ・将来の夢アンケートの実施 ・キャリア講話・地域の職業人講話・卒業生による講話等を招聘し、夢や目標を具体化させる。						
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」	○年齢に応じた睡眠時間を確保している児童生徒の割合が85%以上 ○朝食をとって登校する児童生徒の割合が100%	・睡眠の大切さを伝え、その「質」「量」を年間を通して身に付けさせる。 ・生活習慣アンケートの実施や、朝食喫食率の調査 ・保健だよりと食育だよりの配布(本校の健康課題やタイムリーな話題を中心に、月に1回)						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○全職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上。	・定時退勤日の設定、部活動休業日の設定。 ・行事等の精選を行う。						
●特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会実施 ・生徒指導協議会での情報共有						

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○思考力・判断力・表現力の育成(授業研究部)	○思考力、判断力、表現力を高める学習指導～子どもの実態に応じたアウトプット活動を通して～	○校内研究テーマに基づき、思考力、判断力、表現力を高める授業の研究に取り組んだ教師90%以上	・校内研究テーマに基づいて小中がそれぞれに研究仮説を立てて研究を進め、授業の展開の研究やワークシート等の開発、個に応じた指導に取り組む。						
○思考力・判断力・表現力の育成(交流部)	○思考力、判断力、表現力の育成	○「気になるニュース」アンケートで話を深めることができた生徒80%以上	・「気になるニュース」を毎週実施し、柱を設定し深まる意見を考えさせるとともに、必ず質疑応答をさせることで対応力を育てる。 ・他校との交流を積極的に進め、その中で意見発表の機会をつくる。						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------